



道の駅は本当に必要か

道の駅計画について



性化に向けた、にぎわい拠点の創出を目指すものである。管理運営は第三セクターへの委託や民間企業への指定管理などがあり、民間のノウハウを活用した管理運営が必要である。現在、基本構想・計画の中で方向性を整理し、メリットデメリットを踏まえ運営手法を選択していく。

議員

建設費はいくらかかるのか。市町村が投資している以上、必ずこれは公開してはならない。全国の経営状況とお金の出どころは。

産業拠点整備課長

概算で最大約15億円と試算している。また全国概況での経営状況は、65%が赤字、35%が赤字である。委託方法など詳細はまだ決まっていない。

議員

市長の意気込みも分かるが、赤字の場合は誰が補填するのか。責任を明確にしないと大変なことになる。失敗した場合、誰が責任を取るのか。年間数百万の黒字では、建設資金の返済やメンテナンス費用を賄えない。この事業は非常に繊細であり、心配である。すべて民間でやるのであれば、もろ手を挙げて賛成する。

都市建設部長

この道の駅は、復興計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた計画で、地域活

茂田 信二 議員

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問



世界を見据えた観光誘致を

常総市の観光施策について



光客の増加が予想される。現在、市観光物産協会で毎年開催される柴又での寅さんサミットをはじめ、年50回以上市内外の催しに参加しPRに努めている。広域的には取手市、つくばみらい市、関東鉄道と常総地方観光促進協議会を設け共同でパンフレットなどを作成しPRをしている。今後はPRの強化や環境美化に努め、国体などに合わせイベントの開催も検討していく。

議員

観光客がどこで食事をするのかといってもグルメマップがない。史跡などを巡るにしても、坂野家などガイドブックに紹介されている場所に休憩所やお茶を飲む所もない。今後インフラ整備の計画はあるのか。

経済環境部長

外国人対応も考え、パンフレット、案内板の多言語語化、休憩のベンチやあずまやなど、国県のインバウンド関係の補助事業を活用して整備に努めていく。

議員

財源の確保としても観光客の誘致は効果が高いと考える。常総市のいいところを多くの方に知っていただき喜んでもらい、市民が経済効果を楽しんでくれるような取り組みを要望する。

経済環境部長

当市でも圏央道常総IC周辺整備事業を進めており、今後観

堀越 輝子 議員